

# 委員会視察レポート 先進地から学ぶ



## 若者議会

令和5年11月14日 愛知県新城市

### 若者が自ら政策を 提案できる取組

新城市は若者が活躍するまちを目指し、若者条例や若者議会条例を制定し、若者の声や思いを形にできる若者議会を設置している。委員はおおむね16歳から29歳までのメンバーで、これまでも図書館のリノベーションや観光パンフレット作成、国際交流イベントなど、多くの事業を実現している。



#### ポイントはココ！

- 毎年度1,000万円までの予算を提案する権利が与えられている。
- 若者にとっては社会の仕組みを知る成長の場、行政にとっては若者の発想力と行動力を感じる気づきの場になっている。
- 若者議会を経験した若者が、市議会議員や市の職員として活躍している。

#### 視察を終えて

- ・本市でも地元の若者たちに権限を持たせること、自信を持たせることによって、若者が地域を変える力になると感じた。(松本委員)
- ・自分たちで住みよいまちづくりを実現できる経験は大変重要で、本市も若者が市政に関心を持てる取組を考える必要がある。(村上委員)

## 空き家対策

令和5年11月15日 岐阜県各務原市

### DIYにより空き家も はやりの住まいに

空き家を手放す気はないけれど、活用したいという所有者と、住宅を購入する気はないけれど、DIYをして自分らしい暮らしをしたいという借主のマッチングや契約までの流れを、各務原市、民間企業、大学、金融機関が四位一体となってサポートする借主負担DIY型空き家リノベーション事業を行っている。



#### ポイントはココ！

- 貸主は現状のまま貸すため修繕等が不要であり、借主は自分好みにリノベーションしても原状回復の義務がない。
- DIYの知識がなくても、セミナーやワークショップに参加して学びながらリノベーションすることができる。
- 住居学専攻の学科を持つ地元大学の学生が、リノベーションデザイン案を作成している。

#### 視察を終えて

- ・貸主側には長期契約や買取りの期待が高く、住む側に自由裁量権を付与し課題を解決する先駆的な施策で注目すべきである。(佐々木委員)
- ・大学の授業や、DIYの講習などでまちおこしにもつながり、様々な可能性を持っている事業だと感じた。(新田委員)

## 公共交通

令和5年11月16日 石川県加賀市

### アプリで便利に公共交通を利用

加賀市は地区が点在する多極分散型の都市形態であり、消滅可能性都市の一つとしても指摘を受けたが、自家用車に依存しない住みやすいまちを目指し、平成27年から市内全域で乗り合いタクシーの運行を開始した。令和4年11月からは、公共交通をより便利に利用できる加賀MaaSアプリを運用している。

#### ポイントはココ！

- 乗り合いタクシーは市民のみ利用可能で、市内全域を横断できる。
- 加賀MaaSアプリでは、バスの乗車券をキャッシュレス決済で購入でき、降車時にスマートフォン等の購入画面を提示する。また、経路検索や乗り合いタクシーの予約なども簡単に行うことができる。

#### 視察を終えて

- ・大きな予算が必要だと分かったが、本市も地域公共交通の維持は非常に重要で、今後の仕組みづくりに生かしたいと感じた。(伊藤副委員長)
- ・本市のデマンド交通は実証実験中であるが、乗合率を高める工夫が必要であり、加賀市の取組を参考にしたいと思う。(北村委員)

厚生文教常任委員会  
が報告します！



# 見て聴き学ぶ

## “住みよいまち”へ

### GIGAスクール

令和5年11月8日 熊本県玉名市

### ICTを活用した授業 改善と校務の情報化

玉名市では、早くからICTを活用した教育の情報化を推進し、日本教育工学協会から、市内全ての小中学校が学校情報化優良校に認定されている。また、より最適な教育・学習環境を整備することを目的とし、玉名市学校教育情報化推進計画を策定し、先駆的なICT教育に取り組んでいる。



#### ポイントはココ！

- ICT支援員を5人配置し、新しい学習スタイルを構築するための教員に対するサポートを実施。
- 月に1回、ICT支援員を含めた各学校間での意見交換の場を設け、ICT機器の活用に関する課題の共有や情報交換を実施。
- タブレット端末を家庭学習にも活用しており、家庭学習のためのSIMカードの貸出しも実施。

#### 視察を終えて

- ・目標と実施期間を計画に明記し、細部にわたり具体的な取組を定め、ICT教育を進められていることに感心した。(大前委員)
- ・玉名市では、小学校教員よりも中学校教員の方が、ICT教育の浸透に時間がかかっており、深川市と共通した課題を感じた。(松原委員)

### 子供の貧困対策

令和5年11月9日 福岡県八女市

### 健やかな成長を促進する 子供の居場所づくり

こども食堂等は、子供たちにとって、食事や地域の方との関係性を通し、経験や成長を促す重要な取組で、地域の有志による共助活動。八女市では、子どもの貧困対策推進計画に基づき、これらの取組の活動基盤を固めるため、八女市社会福祉協議会と協働し、子供の居場所づくりに取り組んでいる。



#### ポイントはココ！

- 社会福祉協議会が運営する地域のまるごとサポーターが、生活の悩みごとを一手に引き受ける包括的な相談支援窓口となり、解決に向けて様々な機関とつながりながら支援を実施。
- まるごとサポーターと市が連携し、こども食堂等の開設や、資金・物資の調達、活動の仲間づくりまで、持続的な取組をサポート。

#### 視察を終えて

- ・社会福祉協議会との協働により、地域の団体や有志の方々とつながり、支援の輪を広げてきたことによる横の連携の強さに感動した。(田畑委員長)
- ・こども食堂の取組により、子供たちの健やかな成長につながっており、まさに推進計画に基づくまちづくりが実践されていると感じた。(山本委員)

### 子供・子育て支援

令和5年11月10日 福岡県那珂川市

## 地域に必要とされ、地域で支える“ふれあいこども館”

子育て支援拠点機能と児童館機能を併せ持つ複合児童福祉施設ふれあいこども館は、施設の運営や様々なプログラム事業の実施に当たり、地域の協力を得ている。ふれあいこども館では、利用可能時間や場所を区切るなどにより、乳幼児から高校生までの幅広い年齢の子供たちが快適に利用できるよう運営されている。

#### ポイントはココ！

- スタッフの創意工夫により、子育て中の保護者、小中学生、高校生向けの様々な定期プログラムや単発プログラムを実施。
- 施設を利用する小中学生は、やがて高校生となり、その高校生たちを中心とするボランティアスタッフが施設の運営等を協力。

#### 視察を終えて

- ・高校生などのボランティアスタッフが進んで事業の運営等に協力され、まちを挙げて、子供たちと積極的に関わる運営体制づくりは、大変参考になると感じた。(有働副委員長)
- ・地域住民のボランティアスタッフの協力もあり、まさに地域で子育てに取り組まれていることは、本市の取組においての参考にしたと感じた。(鶴岡委員)



# 見<sub>て</sub> 聴<sub>き</sub> 学<sub>ぶ</sub>



## タブレット端末導入とペーパーレス化

令和5年10月31日 岐阜県郡上市

### タブレット端末操作は ”習うより慣れる”

郡上市議会は、平成24年から議会改革の取組の一環として、議会のICT化及びペーパーレス化に向けて調査・研究を進めてきた。議会活動の効率化と活性化、議会事務局の業務負担軽減を重点項目として検討を重ね、行政に先駆けタブレット端末導入を決定し運用している。



#### ポイントはココ！

- 平成24年から議会のICT化及びペーパーレス化について調査研究を行ってきた。
- コロナ禍でのオンライン会議等にも対応するため、令和3年に議会が先行してタブレット端末導入を決定した。
- 議会のタブレット端末導入決定を受け、その後、行政も導入を決定、令和4年度から運用を同時に開始した。

#### 視察を終えて

- ・議会改革特別委員会で議会のICT化及びペーパーレス化を調査研究、タブレット端末導入は議会運営の効率化に繋がると痛感した。（鶴岡委員）
- ・タブレット端末導入は、議会運営の効率化と職員の仕事負担軽減に有効、さらに一般質問に活用することでより効率的になると感じた。（伊藤委員）

## 議会運営と議会改革の取組

令和5年11月1日 愛知県半田市

### 行政の“事業評価を実施” 行政へ申入れ

半田市議会は、開かれた議会を目指して、平成23年に議会基本条例を制定し、議会改革を押し進めており、市民参画の取組として議会報告会やおでかけサミットなどの企画運営、市民と意見交換を行うなど、議会の活性化に取り組んでいる。



#### ポイントはココ！

- 市民の意見を幅広く把握するための意見交換の場として、中学生の生徒会サミット、若いお母さん等との茶話会等を開催している。
- 議員の質疑等の趣旨を確認するため、市長等の答弁者に反問権を付与している。
- 議会として行政の事業評価を実施し、議員総会を経て行政に申入れしている。

#### 視察を終えて

- ・視察や研修を自ら企画立案し議会の承認後に実施し、全議員参加の報告会で情報共有するなど、今後の議会運営の参考となった。（北村委員長）
- ・政策立案及び提言を行い、市民の付託に応える議会を目指し、議会改革等に取り組む姿勢が大事であると感じた。（山本副委員長）

## 林活議連研修事業

深川市議会では、本市の森林・林業の活性化と山村経済の振興に寄与することを目的に、全議員で構成する森林・林業活性化推進議員連盟を設置しています。

令和5年11月21日に行った研修事業では議員13人が参加し、北海道立北の森づくり専門学院（旭川市）を視察しました。学院では、100年先を見据えた森林づくりの推進に取り組んでおり、学院の概要説明を受けた後、施設見学や木の切り倒し模擬体験などを通じて、林業への理解を深めました。

